

フードブレイン株式会社

急速冷凍機及び自動計量器、自動給袋包装機導入による 高品質愛媛県産冷凍里芋の生産体制確立

愛媛県産の里芋の冷凍加工から袋詰、箱詰作業をすべて手作業で行っていた。スーパージェットトンネルフリーザーと自動計量機、自動給袋包装機を導入することで急速凍結できるようになり、品質が向上し、生産性も格段に向上した。

事業取組みの経緯

「業務スーパー」9店舗を運営する小売部門を主力としているが、その売上が減少する中、新事業導入による収益確保のためにJA全農えひめ及び里芋生産農家と連携し、平成28年10月より本社近隣の「うま地方」で栽培されるブランド里芋「伊予美人」の冷凍加工を始めた。これまで、皮ムキ、カット、冷凍、計量、袋詰、箱詰まで全工程を手作業で行っていた。

冷凍里芋は、国内流通の9割以上が輸入品であるが、食の安心安全志向の高まりから国産冷凍里芋の消費者ニーズは高い。当社の冷凍里芋は、生産農家（栽培地）、製造工場等の全てが愛媛県内でありトレーサビリティが明確であることが評価され、生協や関東の大手量販店、県内惣菜加工会社等からの新規受注が増えている。

しかし、現状の生産体制での増産は困難であり、早急な生産性向上対策として顧客の要望に応える生産体制を構築し、収益力改善を図るために今回の事業を計画した。

実施内容

①冷凍工程にエアブラスト方式急速冷凍機「スーパージェットトンネルフリーザー」を導入し、12時間かかる工程を1時間に短縮し、品質向上と時間短縮を図った。温度や時間に係る調節等の導入試験を行い、その成果を高品質冷凍里芋の製造マニュアルとした。

②計量工程に「組合せ自動計量器」を導入し、高速高精度の計量を可能として、1袋250gの里芋を1分間に35～50袋分を投入でき、8%以上の原料ロスの解消を図った。

③袋入れ・ヒートシール工程に「自動給袋包装機」を

導入し、1分間に50袋の速さで袋入れ・ヒートシールを可能として、8倍以上の量産化を図った。

事業取組みの成果

①今回導入した「スーパージェットトンネルフリーザー」により短時間で急速凍結が可能となり、高品質の冷凍里芋を生産することができるようになった。

②自動計量器と自動給袋包装機の導入により正確な計量ができ、歩留向上が実現し生産数量が格段に向上した。

今後の活動予定

①「生協」「学校給食」向けに国産産地限定の「愛媛県産里芋伊予美人」をPRして、来期の受注増加への営業活動が可能となったことから、売上拡大に繋げていく。国内産が調達できないという理由で取り扱いがなかった生協（宅配）等の市場で拡販することができる。

②当社の小売部門「業務スーパー」において国内産加工品の少人数世帯や高齢者世帯向の少量パック品をラインアップして、小売部門の売上向上に取り組んでいく。



スーパージェット
トンネルフリーザー



組合せ自動計量器



自動給袋包装機

フードブレイン株式会社

- 代表者／代表取締役 森川 恵二
- 本社住所／〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町4105-17
- TEL／0896-57-0067
- 設立年月日／平成14年10月
- 資本金額／1,000万円
- 従業員数／150名
- 業 種／各種食料品小売業・冷凍食品加工
- 事業拠点／川之江工場 愛媛県四国中央市川之江町4105-16

企業概要

「業務スーパー」のフランチャイジーとして、愛媛県内7店舗と高知県内2店舗の合計9店舗の運営と四国中央市で食品加工の2部門の事業で展開している。

小売部門は、一般食品、飲料、冷凍食品、野菜、精肉等を主力に取り扱い、主要顧客は、一般消費者である。冷凍食品加工部門は、小売部門の売上が伸び悩む中、新規事業による新たな収益を構築したいと考え、JA全農えひめ及び里芋生産農家と連携して、平成28年10月より開始した。「うま地方」で栽培される「伊予美人」というブランド里芋の冷凍加工を行っている。

主要取引先

サンヨー食品

主要商品



生協向けPB商品

主要設備

急速冷凍機「スーパージェットトンネルフリーザー」、自動計量器、自動給袋包装機等

担当者	代表取締役 森川 恵二
連絡先	0896-57-0067